

平成 29 年 9 月 1 日

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル

代表取締役社長 米澤 栄二

マレーシアで大型 EV バスシステム実証を開始 —10 分間の超急速充電で 30km 運行を実現—

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバルは、東芝インフラシステムズ株式会社、株式会社ピューズ、株式会社ハセテックと共同で、マレーシア国の行政首都であるプトラジャヤ市において、10 分間の超急速充電で 30km 運行を実現する大型電気バス (Electric Vehicle: EV) システムの実証を開始しました。本実証事業では、長寿命で超急速充電が可能な二次電池を搭載した大型 EV バスを用いて、同市の都市交通システムの効率向上によるスマート化を図り、都市交通パッケージ事業の広域展開を目指します。



本実証事業は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) の「国際エネルギー消費効率化等技術・システム実証事業」の委託先として採択されたものです。実証期間は 2015 年度から 2019 年度で、マレーシア国プトラジャヤ市周辺において大型 EV バスを運行し、超急速充電に対応した EV バスの走行性能の確認、熱帯地域における電池の寿命特性や超急速充電の連続オペレーション時の性能などを検証します。

弊社は、これまで海外 150 か国においてインフラ整備事業に携わってきた経験を活かし、EV バスの運行計画の策定や、事業性の評価、省エネ・CO2 削減効果を含む環境評価を担当します。

EV バスはディーゼルバスとは違い、二酸化炭素や他の大気汚染物質の排出がなく、低騒音での走行が可能です。マレーシアでは、経済成長に伴う大気汚染、全世界的な地球温暖化防止に向けた取組の必要性などを背景に、こうした電気自動車を含むエコカー市場の拡大が見込まれています。また今後は、マレーシアと同じく環境に配慮した公共交通インフラ整備に力を入れているアジア、中東、中南米等地

域への展開が期待されます。

弊社は、今回の実証で得られた知見をもとに、低炭素型都市交通ソリューションの1つとして、太陽光を含む再生可能エネルギー供給システム等と組み合わせた、EV バスシステムの普及・展開を図っていきます。

実証事業の概要

期間	2015年2月～2020年2月
実証内容	熱帯気候でのEVバスシステムの走行実証 二次電池の寿命特性検証 超急速充電の連続オペレーション実証 など
システムの概要	大型EVバス11台 320kW超急速充電システム4式 CHAdeMO(チャデモ式)急速充電器1台 状態監視などの情報システム1式 ----- 大型ダブルデッカーEVバス2台 480kW超急速充電システム1式
運行ルート (予定)	① マレーシア プトラジャヤ市内循環ルート ② プトラジャヤ市-サイバージャヤ市間循環ルート



運行開始式の様子 (2017年8月28日)

マレーシア連邦直轄領省次官、プトラジャヤ市市長をはじめとする多数の政府関係者が出席。在マレーシア日本大使館、NEDO 渡邊理事、東芝インフラシステムズ(株) 青木取締役常務、(株)ピューズ 竹田代表取締役社長、(株)ハセテック 藤原代表取締役社長とともに、弊社 福岡取締役常務が参加。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル

担当 広報・渉外室 富田早季 プランニング事業部 地球環境部 門司崇宏

TEL: 03-6311-7570 FAX: 03-6311-8020 URL:<http://www.oriconsulglobal.com/>